

第9回インフラメンテナンス大賞「優秀賞（経済産業省）」の受賞について

2026年1月22日

東京電力パワーグリッド株式会社
東京電力ホールディングス株式会社

東京電力パワーグリッド株式会社（以下、「東電 PG」）と東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東電 HD」）は、第9回インフラメンテナンス大賞に、「大気腐食モニタリングセンサを活用した送電鉄塔の保全方策確立」について応募し、優秀賞（経済産業省）を受賞しましたので、お知らせいたします。

インフラメンテナンス大賞とは、日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発に対し表彰するもので、国土交通省や総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省が所管している施設について、各界の有識者による審査を経て、内閣総理大臣賞、各省大臣賞、特別賞、優秀賞が決定されます。

なお、当社グループとしては、2022年の第6回同賞で経済産業大臣賞を受賞して以来（[2022年12月5日お知らせ済み](#)）、2度目の受賞となります。

今回、受賞した内容は以下のとおりです。

【受賞概要】

1. 件名

大気腐食モニタリングセンサを活用した送電鉄塔の保全方策確立

2. 受賞者

- ・東京電力パワーグリッド株式会社
- ・東京電力ホールディングス株式会社

3. 技術概要

本技術は東電 PG と東電 HD の二社で取り組んできた技術です。大気腐食モニタリングセンサを先駆的に鉄塔に設置し、取得した約 150 箇所の腐食速度データを基にマップを作成し、約 4 万 4 千基の鉄塔 1 基毎の腐食速度を把握することに成功しました。これにより、設備個別の腐食環境を考慮することで鉄塔、電線、金具類の点検、修理等の保全方策を見直し、大幅な修繕費削減を実現しました。

4. 受賞理由

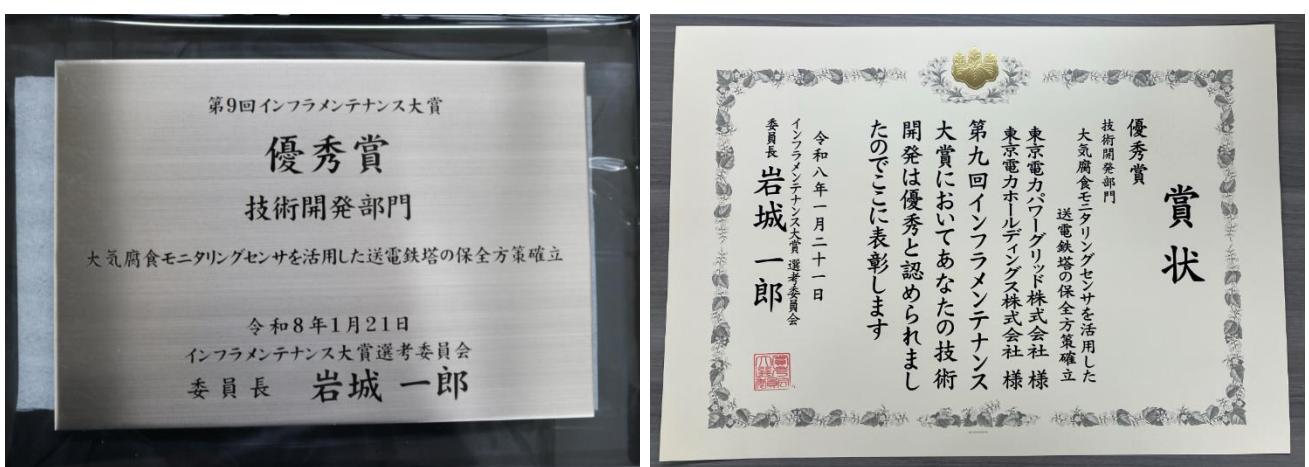
大幅な修繕費削減効果を上げている点、及び、他業界への活用も期待できる点が評価されました。

二社は、引き続き技術開発を推進し、電力安定供給のため、設備の維持・強化を図ってまいります。

【授賞式の様子】



(東電 PG・東電 HD の授賞式参加者)



(頂いた盾と賞状)

<別紙>大気腐食モニタリングセンサを活用した送電鉄塔の保全方策確立の概要

以上